

偕行会リハビリテーション病院 2018年度学術活動

1) 学会発表

■12TH ISPRM WORLD CONGRESS -ISPRM 2018 2018年7月8日～12日

「A trial of convalescent rehabilitation with botulinum toxin injection in subacute recovery stage for spasticity」

Dr.田丸司 田丸佳子 石崎公郁子 山川春樹 松原正武

■第55回日本リハビリテーション医学会学術集会 2018年6月28日～7月1日

「CI療法前後での把握運動の力調節能力とMAL間の関係性の変化」

OT戸嶋和也 Dr.田丸司

■第52回日本作業療法学会 2018年9月7日～9日

「ADOCの使用が対象者に及ぼす心理的効果の検証」

OT上地朱音 川口悠子 戸嶋和也

「当院における脳卒中後上肢麻痺に対するConstraint induced movement therapy (CI療法)の取り組みと効果」

OT野口貴弘 戸嶋和也

「ボツリヌス療法と随意運動介助型電気装置(IVES)の併用により上肢機能が改善した重度慢性期脳卒中患者1症例」

OT小坂奈美佳 赤坂佳美 田丸司

「ADOC導入前後のスタッフの目標共有に関する意識変化」

OT川口悠子

■リハビリテーション・ケア合同研究大会 米子2018 2018年10月3日～4日

「ADOCによる視覚情報を用いて自宅退院に向けて必要な作業の選択を図った一例」

OT青木理恵子 川口悠子 上地朱音

■第34回東海北陸理学療法学会 2018年10月27日～28日

「被殻出血患者における下肢の筋緊張亢進に関与する脳領域の検討」

PT澤島佑規

■第18回東海北陸作業療法学会 2018年11月17日～18日

「ドライビング・シュミレーターの選択反応検査の速度向上に効果的な介入プログラムの検証」

OT藤原香澄 川口悠子

「当院の自動車運転評価についての分析」

OT 坂東潤一 猪飼大二郎 小坂奈美佳

■日本臨床神経生理学会学術大会 2018年11月8日～10日

「把持力の視覚フィードバック付加条件の有無による神経活動へ与える影響について運動関連脳電位を用いた検討」

OT 戸嶋和也 森田良文 和坂俊昭 安藤晃平 野村正和 田丸司

■愛知県理学療法士会 尾張西部ブロック会 第1回症例検討会 2018年11月28日

「装具療法を用い ADL の改善を目指した脳卒中下肢重度片麻痺例～長下肢装具から短下肢装具への移行に着目して～」

PT 五十嵐遥花 小野田智朗

「主介護者の介護力を考慮して起居・移乗・排泄の介助指導を行なった重度脳卒中患者～退院後の介助状況を踏まえた家族指導の振り返り～」

PT 山口望

「社会参加を目指すために不安に着目し歩行速度の改善に介入した脳卒中片麻痺例」

PT 富田沙希

■回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会 in 舞浜 2019年2月21日～22日

「高次脳機能障害患者に対するチームアプローチ～リハビリ看護師としての役割～」

Ns.山本きよ子 今井志保

「排便ケアへのチームアプローチ」

Ns.若松喜代実

「回復期リハビリテーション病棟における患者・セラピスト間の退院後生活イメージの違いについて～アンケート調査の結果から～」

PT 北村夏子 伊藤良太 伊藤剛 森戸裕也 浦野和美

「回復期リハビリテーション病棟のセラピストにおける生活期を見据えたマネジメントに必要な視点の実践の程度」

PT 森戸裕也 伊藤良太

「子育て中のセラピストが直面する就業上の問題の理解度について」

PT 藤原智子 森戸智子 伊藤良太

「ライフイベントが回復期リハビリテーション病棟のセラピストの就業に及ぼす影響」

PT 森戸智子 藤原智子 伊藤良太

「当院回復期病棟入院患者のドライビングシュミレーターと神経心理学検査との関連について」

OT 猪飼大二郎

「電気刺激を付与する部位の違い及び刺激の有無がリーチ動作の再現性へ与える影響
—健常者 3 症例による予備的検討—」

OT 岸地洋 戸嶋和也

「介護保険サービスを活用せず回復期リハビリテーション病院を退院された方の活動量・FIM の追跡調査」

OT 黒川里恵 小坂奈美佳 戸嶋和也

■愛知県理学療法士会 平成 30 年度尾張西部ブロック第 2 回症例検討会 2019 年 2 月 27 日

「歩行獲得を目標とし介入していたがうつ症状により目標設定や介入方法に難渋した症例」

PT 池田穂乃花 牛田雄美

「大腿切断患者の社会復帰に向けた取り組み～障害受容の段階に応じた関わりに難渋した症例～」

PT 浦野和美 伊藤良太

「病前の不衛生な生活環境により患者との目標共有が困難で ADL 向上に難渋した症例」

PT 堀田清行 森田隆司

■第 28 回愛知県理学療法学会 2019 年 3 月 17 日

「被殻出血患者における急性期の各脳領域の損傷度を用いた回復期リハビリテーション病棟退棟時の認知機能の予後予測」

PT 澤島佑規

2) 研究会活動

■CORABOSS 名古屋VI 2018 年 6 月 2 日

総合司会：Dr.田丸司

【装具治療と痙縮治療】

「医師の立場から」 Dr.田丸司

「理学療法士の立場から」 PT 堀田清行

「作業療法士の立場から」 OT 戸嶋和也

■第13回日本臨床コーチング研究会年次学術集会 2018年7月15日

【未来へ想いをつむぐ仲間とともに】

幹事：Dr.田丸司

■第8回コンプリヘンシブ・リハビリテーション懇話会 2018年7月21日

【各病院での先進的リハビリテーションの取り組み】

「病院紹介：クリニックスナヤンについて」

Dr.田丸司

「人工知能（AI）利用による回復期脳卒中患者のFIM予測システムの開発」

Dr.田丸司

「脳卒中後上肢麻痺に対する把握デバイス（iWakka）とCI療法の併用効果～3症例による検討～」

OT 戸嶋和也 森田良文

■2018 Stroke Total Care Conference 2018年7月25日

【パネルディスカッション】

『急性期と亜急性期の再発予防』

コントローラー 名古屋掖済会病院 落合淳

アドバイザー 名古屋掖済会病院 鈴木幸

パネリスト

名古屋掖済会病院 Dr.小野田統

鵜飼リハビリテーション病院 Dr.倉地英志

偕行会リハビリテーション病院 Dr.松原正武

■第19回愛知回復期リハビリテーションの会 2018年8月3日

■CORABOSS#7 2018年9月1日

■愛知県栄養士会 生涯教育研修会テクニカル編 第2回 2018年10月27日

「栄養士に役立つ臨床コーチング」

講師 Dr.田丸司

■日本臨床コーチング研究会認定コーチ研修会 in 札幌 2018年11月17日～18日

講師：Dr.田丸司

■第20回愛知回復期リハビリテーションの会 2019年1月10日

■日本臨床コーチング研究会認定コーチ研修会 in 名古屋 2019年1月19日～20日

講師：Dr.田丸司

■愛知県医療法人協会主催 IT セミナー 2019年2月22日

【電子カルテの活用、RPA と AI 導入が切り開く近未来の臨床医療】

「医療と AI…実例について」

講師：Dr.田丸司

3) 論文掲載

■理学療法学 第45巻 第4号

「被殻出血患者における各脳領域の損傷度による歩行自立度の予後予測」

PT 澤島佑規 足立浩孝 村田真也 田中善大

■愛知県理学療法学会誌 第30巻 第2号 2018年12月

「被殻出血患者における皮質脊髄路走行領域の損傷度と下肢運動機能との関係」

PT 澤島佑規 足立浩孝 田中善大

■計測自動制御学会 論文集

「脳卒中片麻痺患者に対する把握力調整能力評価トレーニングデバイスの有用性検証」

森田良文 安藤晃平 野村正和 戸嶋和也 田丸司